

平成29年度 愛知学泉短期大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
24602	救急看護 Emergency nursing	木村 典子	専門	2	選択	2年 後期
科目の概要						
<p>救急は、健康に生きることをおびやかす身体の危機状態であり、突然おこるケガや病気、状態の急変などです。救急は時と場所を選ばず発生するものであり、緊急時の対応や処置が、傷病者の生死、その後の人生を左右します。医師や看護師など救急医療に携わる人ばかりではなく、すべての社会人や学生が、一般常識として救急処置を見につけておくことが大切となってきます。</p> <p>救急に関心を持ち、救急処置の基本を身につけていきます。</p>						
学修内容			到達目標			
<p>① 救急に関する知識について学ぶ。</p> <p>② 救急手技(心臓マッサージ、人工呼吸、AED の使い方、包帯法、手当)を学ぶ。</p>			<p>① 救急に関する知識と技術を学び理解する</p> <p>② 実際に救急処置を実践し、救急手技を習得する</p>			
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例				
前に踏み出す力	主体性	必要な知識についてさらに深めた理解するために、教科書文献を使って、自己学習ノートを作成できる。				
	働きかけ力					
	実行力	目標を設定して、最後まで、知識習得のために、最後まで、やりぬくことができる。				
考え抜く力	課題発見力	主観的情報、客観的情報を連動させて、課題を考えることができる。				
	計画力					
	創造力	課題を考えるとき、自己の固定観念にとらわれることなく、文献を活用したり、他者からの意見を取り入れ、考えることができる。				
チームで働く力	発信力	グループで話し合った結果をパワーポイント・資料を作成し、発表原稿を準備し、発表できる。				
	傾聴力	グループワークで、人の意見を確認し、さらに自分の意見がのべることができる。				
	柔軟性					
	状況把握力					
	規律性	無断欠席、遅刻、私語など講義に支障をきたす行動をせず、欠席した場合の分の補充ができるよう、クラスのメンバーなど聞き、行うことができる				
	ストレスコントロール力					
テキスト及び参考文献						
<p>テキスト:使用しない。資料を配布する。</p> <p>参考文献:なし</p>						
他科目との関連、資格との関連						
<p>他科目との関連:なし</p> <p>資格との関連:なし</p>						
学修上の助言			受講生とのルール			
<p>授業での話し合いのため、課題を出します。課題にそって、レポートして来てください。</p> <p>小テストを実施します。復習をしてください。</p>			<p>積極的に取り組み、協調性をもって授業に臨んでもらいたい。欠席や遅刻の多い学生、授業態度の悪い学生はマイナスに評価する</p> <p>実技の正確性以外に、エビデンスの理解ができているかどうかを評価の対象とする</p>			

【評価方法】

評価方法	評価の割合	到達目標		各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
筆記試験	40	①	✓	救急の疾患の状態と対応について、確認をする。 救急手技の気をつけるべき点を確認する。
		②	✓	
小テスト	20	①	✓	基礎的な疾患の理解をみる。前回の授業の理解を確認する。 2点×10回
		②	✓	
レポート	10	①	✓	救急と人のいのちについて、資料をもとに考えられているかをみる。 医療倫理について
		②		
成果発表 (口頭・実技)	20	①	✓	講義内容に関連した事例のポイントとその内容を正しく説明することができる。 内容の正確さに加え、聞き手にわかりやすく伝える工夫ができていないかについても評価の対象とする。(評価ポイント:説明の流れ、話し方等) 適切な心臓マッサージ、人工呼吸、窒息時の対応、骨折時の保護を確認する。
		②	✓	
作品				
社会人基礎力 (学修態度)	10	①		(主体性) ・必要な知識についてさらに深めた理解するために、文献を使って、自己学習ノートを作成できる。 (実行力) ・目標を設定して、最後まで、知識習得のために、最後まで、やりぬくことができる。 (課題発見力) ・主観的情報、客観的情報を連動させて、課題を考えることができる。 (創造力) ・課題を考えると、自己の固定観念にとらわれることなく、文献を活用したり、他者からの意見を取り入れ、考えることができる。 (発信力) ・グループで話し合った結果をパワーポイント・資料を作成し、発表原稿を準備し、発表できる (傾聴力) ・グループワークで、人の意見を確認し、さらに自分の意見がのべることができる。 (規律性) ・無断欠席、遅刻、私語など講義に支障をきたす行動をせず、欠席した場合の分の補充ができるよう、クラスのメンバーなど聞き、行うことができる
		②		
その他				
総合評価割合	100			

【到達目標の基準】

到達レベル A(優)の基準	到達レベル B(良)の基準
疾患、救急の処置について、関連づけて、説明ができる。救急処置の根拠が説明でき、適格な救急処置が実施できる。小テスト、筆記試験が80%以上である。事例にある対象についての提示した参考文献の他、学生、自ら、文献検索し、説明をわかりやすい方法を選択し、発表できる。発表についても創意工夫がある。	疾患、救急の処置について、関連づけて、説明ができる。救急処置の根拠が説明でき、適格な救急処置が実施できる。小テスト、筆記試験が70%以上である。事例にある対象についての自己でも、提示した参考文献の活用し、説明をわかりやすい方法を選択し、発表できる。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1週 /	路上で倒れている人を見たとき	講義	倒れている人を見たときにアセスメントの仕方を述べられる。	(予習)我が家の救急箱の中身と、考察をする。	180	発信力 実行力 課題発見力
2週 /	救急箱の中身	小テスト 講義 グループワーク 発表	とっさの事態に対応できるように救急箱に必要なものを列挙できる。	(復習)呼吸器の解剖生理について復習をする。	180	発信力 実行力 課題発見力 傾聴力
3週 /	窒息と過換気症候群 ・窒息とは ・119番通報 ・過換気症候群とは ・救急の心構え	課題発表 講義 演習	窒息時の対応について理解し、実際におこなえるまでの流れを述べられる。	(復習)授業の振り返りをする。	180	発信力 実行力 課題発見力
4週 /	ショック ・救急ABCD ・ショックとは ・気道確保 ・背部叩打法 ・ハイムリック法	小テスト 講義 演習 実技確認	救急ABCDを述べられる。窒息時の処置を習得する	(復習)授業の振り返りをする。 (予習)次回の授業の事例に出てくる疾患とその対応についてまとめる	180	発信力 実行力 課題発見力
5週 /	災害と救急	小テスト 演習 グループワーク 発表	トリアージの考え方をもとに、災害時の緊急避難所での対応が述べられる。	(復習)授業の振り返りをする。	180	発信力 実行力 課題発見力 傾聴力
6週 /	入浴事故 ・入浴事故 ・心臓マッサージ 安全な入浴とは ・人工呼吸	講義 グループワーク 発表	入浴事故でおきることを列挙できる。入浴事故を関連付けて、安全な入浴方法を述べられる。	(予習)心臓マッサージ、人工呼吸法の手技を予習する。	180	発信力 実行力 課題発見力
7週 /	実技 ・心臓マッサージ ・人工呼吸	小テスト 演習 実技確認	心臓マッサージ・人工呼吸の仕方を習得する。	(復習)心臓の解剖生理について復習をする。	180	発信力 実行力 課題発見力
8週 /	心臓突然死とAED ・心臓突然死とは ・AEDとは	小テスト 講義 グループワーク 発表	心室細動の原因と、AEDを使用する目的を説明できる。	(予習)脳の解剖生理について予習をする。	180	発信力 実行力 課題発見力 傾聴力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9週 /	頭部外傷と慢性硬膜下血腫 ・頭部外傷と慢性硬膜下血腫とは ・頸椎を守る	小テスト 講義・演習	脳と全身症状について、説明できる。	(復習) 脳の疾患と、対応について復習をする。	180	発信力 実行力 課題発見力
10週 /	バイタルサインとは	小テスト 講義・演習 実技確認	バイタルサインについて観察項目を述べられる。 実際にバイタルサインの測定を行い、手技を習得する	(復習) 測定したデータを考察する。	180	発信力 実行力
11週 /	急性心筋梗塞と救命の連鎖 ・急性心筋梗塞とは ・救命の連鎖とは 人の死と倫理	小テスト 講義 グループワーク	心筋梗塞と救命の連鎖を関連付けて述べられる。 人の死について意見を述べることができる。	(復習) 医療倫理を考える。資料を読んで、レポートをまとめる。	180	発信力 実行力 課題発見力 傾聴力
12週 /	意識障害と急性アルコール中毒、けいれん発作	発表 講義 実技	意識の確認の仕方が述べられる。 けいれん発作への対応を習得する。	(予習) 事例に出てくる疾患について調べる。	180	発信力 実行力 課題発見力
13週 /	骨折と出血 ・手足の骨折 脱臼・包帯法 ・骨折の処置	小テスト 講義 実技	骨折や出血による危険性を述べるができる。	(復習) 包帯、三角巾の巻き方をプリントをもとに実施する。	180	発信力 実行力 課題発見力
14週 /	実技 ・骨折の処置 ・出血の処置	実技確認 演習 グループワーク 発表	骨折や出血にともなう救急処置を習得する。	(復習) 授業の振り返りをする。骨折について	180	発信力 実行力 課題発見力 傾聴力
15週 /	熱傷 ・熱傷とは ・熱傷の処置	小テスト 講義・演習 実技	熱傷の重症度の判定の仕方を説明できる。 熱傷の処置方法を学ぶ	(復習) 授業の振り返り、試験対策をする。	180	発信力 実行力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力